

令和元年度（平成31年度）
社会福祉法人天童市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人天童市社会福祉協議会

～ 共に支え合おう 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち天童 ～

<http://www.tendo-shakyo.or.jp>

目 次

1	総括	1
2	重点項目	2
3	事業概要	
(1)	地域福祉事業・ボランティア活動の推進	3
(2)	生活困窮者自立支援事業・各種相談援助事業の実施	1 2
(3)	共同募金活動	1 8
(4)	天童市地域包括支援センター中央の運営	1 9
(5)	介護サービス事業所の運営	2 7
(6)	天童市総合福祉センターの管理・経営	2 9
(7)	法人組織の管理・運営	3 1
4	別表 1	
	令和元年度（平成 3 1 年度）天童市総合福祉センター利用状況	3 6

総 括

現在の社会情勢は、少子・高齢化の進行や人間関係の希薄化などにより、人々が直面する生活課題や福祉課題が多様化しています。

社会福祉協議会は、地域住民をはじめ、市民生委員・児童委員や福祉行政関係者など、幅広い人びとにより構成され、福祉に関わる広範囲な事業を実施し、住民の生活課題や福祉課題等、さまざまなニーズに対応するために、地域の実情を踏まえながら事業に取り組んでいます。

平成27年度に開始した市生活自立支援センターの運営については、令和元年度で5年目を迎え、生活困窮者からの相談に対応し、引き続き課題の分析やニーズの把握、自立支援計画の策定を行い、住居確保給付金や福祉の制度等を活用した支援を行いました。

また、平成30年度より実施している多機関の協働による包括的支援事業については、介護や障がい、育児、生活困窮など、複合的な問題を抱えた方への支援ができるよう関係機関と調整を行い、相談者に合わせた支援を展開しました。さらに昨年度から新たに成年後見センター事業を展開し、成年後見制度に関する相談や家庭裁判所への申立て支援、普及啓発活動を実施しました。

天童市における地域包括ケアや地域共生社会の実現を図るため、本会が担う役割と関係機関との連携、協働の方向性を示した「第二次天童市地域福祉活動計画」を策定し、令和7年度までの6年間の取り組みについて確認しました。

超高齢化社会を迎え、単身高齢者や認知症高齢者が増加する中で、誰もができる限り住み慣れた地域で安心して生活が続けることができるように、介護保険サービス等の利用とともに、多様な社会資源の拡充や地域で支え合える体制づくりを目指して、地域包括支援センターの周知・啓発を図りました。

介護保険事業所では、健全経営に配慮しながら利用者の立場に立ったサービスの提供に努めるとともに、障がい者へのサービスの強化により収益の確保に努めました。

ボランティア活動については、災害発生時に備えるため、平成29年度に公益社団法人天童青年会議所との間に「災害ボランティアセンターの運営等に関する協定」を締結し、人材の派遣や資機材等の調達を行うとともに情報の共有を図ることを定めています。昨年は度重なる台風の襲来により東日本を中心に多くの河川が氾濫し、甚大な被害が発生しました。本会では、宮城県丸森町ボランティアセンターに職員を派遣するとともに、災害復旧のためのボランティアバスを運行し災害復興の支援を実施しました。

法人組織の管理・運営については、社会福祉協議会だよりの定期的な発行やホームページ等により事業運営の透明性を図るとともに、各種会議を開催して法人組織の適正な管理、運営に努めました。天童市総合福祉センターの適正な管理運営についても、指定管理者制度に基づき、適正な管理と市民が利用しやすい施設の環境づくりに努めました。

このように、地域福祉を推進する中核組織として、地域社会福祉協議会や行政、地域住民、福祉事業者等との連携を図りながら、『共にささえあい、安心して心豊かに暮らせる福祉のまち』の実現を目指して、本会の効率的な運営と積極的な事業を展開しました。

重点項目

1 地域福祉活動計画の策定と多機関協働支援センター・生活支援コーディネーター事業の積極的な活用

策定委員会や住民座談会、関係者アンケート等の協力を得て、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現に向けた、第二次天童市地域福祉活動計画を策定しました。

また、多機関の協働による包括的支援事業を実施し、関係機関のコーディネートを行いながら複雑化した課題の解決に努めました。生活支援コーディネーター事業では、生活支援・介護予防体制整備推進協議体と連携を図り、住民ニーズと提供主体のコーディネーター業務等を実施しました。

2 地域包括ケアに係る地域づくりの推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、民生児童委員定例会に伺ってセンター機能を紹介するとともに、介護保険地域支援事業である地域カフェ推進事業や市独自事業であるいきいきサロン活動等に積極的に参加して、一般高齢者に対するセンターの周知にも励みました。

更に認知症の方にやさしい地域づくりの一環として、社会人、学生向けの認知症サポーター養成講座の開催や当センターにおいて作成したエンディングノートの紹介に努めました。

3 介護保険事業所の適正経営

本会が運営する居宅介護支援事業所及び訪問介護サービス事業所は、地域支援における中心的な担い手として、利用者の尊厳の保持、利益と権利の擁護を基本に公平公正な支援体制を整え、介護保険のみならず障がい者支援等それぞれの制度に沿った支援を提供すると共に効果的かつ適正な運営に務めました。

また、事業所運営の経営基盤の強化と介護福祉サービスの更なる質の向上に向け、本会一体となり定期的な改善会議を開催しました。

4 天童市総合福祉センターの管理・経営

機械室冷温水管保温修繕やトイレウォシュレット、照明器具等を修理するなど、良好な設備環境による適切な管理・経営に努めながら、利用者の要望に沿うとともに、経費節減に基づく効率的な運営を旨として、市総合福祉センターの管理運営を行いました。

5 法人組織の適正な管理と経営改善に向けた取組み

経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上のため、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営に努めました。また、経費の節減等を行いながら、経営改善に努めました。

事業概要

1 地域福祉事業・ボランティア活動の推進

(1) 地域福祉ネットワーク活動

ア 地域社会福祉協議会の支援・充実

地域福祉活動の効率的、組織的な運営を通し、住民自身がたすけあい、ささえあいう「福祉コミュニティ」を実現することを目的とした地域社会福祉協議会の運営支援に努めました。

地域社会福祉協議会会議を3回開催し、情報交換や協議を行いながら、地域社会福祉協議会の行事等への参加、社会福祉協議会費や共同募金集金の協力、歳末たすけあい配分委員会への協力等、活動全般に協力しました。

1 地域社会福祉協議会会議期日等

- (1) 6月4日 45名参加
- (2) 9月2日 40名参加
- (3) 2月3日 34名参加

2 地域社会福祉協議会の共通活動

- (1) 市福祉推進員活動の支援
- (2) いきいきサロン活動・地域カフェ推進事業・子育てサロン
- (3) 共同募金・歳末たすけあい運動の協力
- (4) 社会福祉協議会費・日本赤十字社会費集金協力
- (5) 福祉活動の啓発・情報提供
- (6) 福祉関係機関との連絡・調整

3 地域社会福祉協議会の自主活動（抜粋）

高齢者いきいき講座、子育て支援講座、役員・事務局等研修会、住民福祉研修会、広報誌発行、高齢者の集い、介護者の集い、手作り弁当宅配、小学生の福祉体験学習他

イ 天童市福祉推進員活動の充実

地域住民の立場から、自治会長や市民生委員・児童委員と連携して高齢者や障がい者等の見守り、声かけ、住民の地域福祉ネットワークづくりを行う市福祉推進員の活動を支援しました。

また、市福祉推進員の情報交換や研修を担う市内13地域の「福祉推進員連絡会」では、各地域社会福祉協議会と連携して研修活動や地域福祉事業を実践しました。

1 市福祉推進員委嘱状況 330名（昨年度329名）

天童南部47名、天童中部76名、天童北部38名、成生22名、蔵増18名、寺津14名、津山24名、田麦野2名、山口18名、高嶺22名、長岡29名、干布15名、荒谷5名

2 市福祉推進員の共通活動

- (1) 見守り、声かけ、話し相手に関すること
- (2) 安否の確認、緊急時の連絡等に関すること
- (3) たすけあい、ささえあいの機運づくり等に関すること
- (4) 地域福祉事業等への参加・協力に関すること
- (5) その他地域福祉の推進に関すること

3 各地域福祉推進員連絡会の活動（抜粋）

市地域包括支援センター・市生活自立支援センター・行政職員による研修会、認知症サポーター養成講座、介護保険施設・障がいサービス事業所・子育て支援施設・他社会福祉協議会の視察研修、自治会長、市民生委員・児童委員との意見交換、地域社会福祉協議会事業への参加・協力

ウ いきいきサロン事業の充実・普及

高齢者や障がい者等、自宅で閉じこもりがちな方々の社会参加、健康増進の場であるいきいきサロンの啓発を図り、自治会や市民生委員・児童委員、市福祉推進員等の支援を得て、62ヶ所で運営を行いました。さらに、一人暮らし高齢者の孤立・閉じこもり防止のための「一人暮らし高齢者激励会事業」への取組みを進めました。

また、市社会福祉協議会事務局では、各種講師の紹介や保険加入等の事務的支援、連絡会議と研修会開催等各サロンの運営支援に努め、市全域での実施を目標として未開設地域への啓発、情報提供等の支援を行いました。

1 いきいきサロン開設状況 62ヶ所（昨年度60ヶ所）

(1) 町内会単位 57ヶ所（昨年度55ヶ所）

三日町、南小畑、南町、上北目、田鶴町、五日町、久野本東2区、久野本東3.4区、久野本東7区、久野本東9区、久野本東10区、久野本東12.13区、久野本東16区、久野本会、糠塚、柏木、泉町、東本町、老野森、綿掛、小路、東交り江、本町、乱川、北久野本1丁目、北久野本2丁目、北久野本3丁目、北久野本4丁目、北久野本5丁目、天童原、大清水、大町、西交り江、今町、向原、成生、小関、高木、蔵増北部、矢野目、蔵増南、温泉、寄的、若松、道満、原崎、芳賀、金谷、高嶺北、清池、楯之内、にれの木団地、高嶺1.2、石倉、上萩野戸、原町、八千代台

(2) 市立公民館単位 5ヶ所（昨年度5ヶ所）

寺津、田麦野、長岡（2ヶ所）、荒谷

2 一人暮らし高齢者激励会実施いきいきサロン 60ヶ所（昨年度58ヶ所）

3 おためしサロン 1ヶ所（昨年度0ヶ所）

天童北部地域（西原団地・せせらぎの杜・春日会・桜会）

4 各いきいきサロン活動（抜粋）

- (1) 健康づくり ロコトレ活動、健康指導、血圧測定、音楽療法、体操教室
- (2) 趣味活動（専門ボランティア等の指導） 手芸、絵手紙、昔語り会、落語、交通安全講話
- (3) 各種行事等 茶話会、会食交流会、花見、芋煮会、クリスマス、新年会等
- (4) その他の事業 世代間交流、日帰りバス旅行、地域行事への参加

5 いきいきサロン活動への支援

- (1) 各種講師紹介、保険加入、福祉バスの利用支援（年間随時）
- (2) 開設・運営の打ち合せ、協議への参加協力、情報提供（年間随時）
- (3) 自治会、市民生委員・児童委員、市福祉推進員に対する啓発・資料発送（1月）

6 新型コロナウイルス感染予防のための対応

- (1) 3月中の活動中止要請
- (2) いきいきサロン連絡会議の中止

エ 地域カフェ推進事業の実施

平成29年10月より、市の委託を受けて、介護保険総合事業の地域介護予防活動支援事業の枠組みにより、各地域に高齢者を中心とする集いの場を設け、交流及び介護予防の機会を提供する「地域カフェ推進事業」を実施しました。

地区（市立公民館区域）を拠点に、月1回以上の集いの場を開催、地区外の高齢者の参加も可能とすることで、町内会での開催を中心とした「いきいきサロン」事業との相乗効果を図りました。

- 1 地域カフェ推進事業開設地域と主な内容 11ヶ所（昨年度11ヶ所）
 - (1) 田麦野「すみれ会」（スリッパ卓球、茶話会）
 - (2) 寺津「うたごえ喫茶」（懐メロを歌う、茶話会）
 - (3) 蔵増「蔵」（喫茶、健康体操）
 - (4) 天童中部「くらつ川」（歌唱、軽体操、喫茶）
 - (5) 天童北部「いるばある」（喫茶、歌唱、軽体操）
 - (6) 山口「お茶のみ処」（喫茶、歌唱）
 - (7) 高揃「こっ茶来い」（喫茶、軽体操、講話）
 - (8) 天童南部「ふれあい南部茶屋」（喫茶）
 - (9) 老野森「たんときてけろ」（喫茶、軽体操）
 - (10) 糠塚「さくらカフェ」（喫茶、軽体操）
 - (11) 上貫津「龍神の里カフェ」（喫茶、歌唱）
- 2 地域カフェ推進事業への支援活動
 - (1) 開設時準備作業への協力（打合せへの参加他）
 - (2) 開設日時の市報掲載への協力
 - (3) 保険加入支援・講師等の紹介
- 3 情報交換会の開催
 - (1) 期日 11月7日
 - (2) 参加者 11ヶ所 37名
- 4 新型コロナウイルス感染予防のための対応 3月中の活動中止要請

オ 生活支援コーディネーターの配置

天童市生活支援・介護予防体制整備推進協議体と連携を図りながら、住民ニーズと提供主体のマッチングや連携及び調整を行い、不足する社会資源についての検討を行いました

- 1 生活支援・介護予防体制整備推進協議体の開催内容

- | |
|---|
| (1) 5月10日 本市の現状分析（情報の見える化）
(2) 10月31日 本市に求められる資源について
2 委員数 9名 |
|---|

カ 社会福祉法人連絡会の設立

社会福祉法人相互の情報交換を行いながら、共通する課題や地域における公益的な取り組み等への協力及び連携を促進する社会福祉法人連絡会を設立しました。

- | |
|--|
| 1 世話人会
(1) 期日
ア 7月4日
イ 7月31日
(2) 参加法人 3法人
小百合保育園・天童福祉厚生会・天童まいつる会
2 設立総会
(1) 期日 9月4日
(2) 参加法人 市内に所在地を置く14社会福祉法人
山形県玉葉会、小百合保育園、天童福祉厚生会、天童まいつる会、睦会
羽陽の里、みらい、つばさ会、つるかめ、星和学園、にこにこ子どもの家
虹の会、つくし保育園、市社会福祉協議会 |
|--|

キ 子育て支援事業の実施

市母子寡婦福祉連合会や地域社会福祉協議会の子育てサロンと協力しながら、親子の集いや子どもたちの遊びの場づくり、親同士のコミュニケーションの場づくりに努めました。

また、市在住で学習に不安がある小中学生に対する学習支援を目的に県退職公務員連盟東村山支部と共催して、学習支援教室を開催しました。

- | |
|--|
| 1 市母子寡婦福祉連合会共催事業
(1) 親と子のクリスマスパーティー
ア 期日 12月8日
イ 内容 バイキング昼食会、ゲーム、ケーキ作り
ウ 参加者 56名
(ア) 子ども 19名
(イ) ボランティア 9名
(ウ) その他 28名
(2) ままカフェ交流会
ア 10月20日 芋煮会 21名
イ 1月19日 茶話会 13名
2 子育て支援活動への助成
(1) 長岡地域社会福祉協議会「子育てサロンりんごっこ」
ア 開催日 毎月第2、第4木曜日
イ 内容 読み聞かせ、季節行事、遠足、お誕生日会等 |
|--|

- (2) 高嶺地域社会福祉協議会「おひさま」
 - ア 開催日 毎月第3水曜日
 - イ 内容 読み聞かせ、親子ふれあい遊び、親子体操、子どもの心と体の話等
- 3 夏休み・冬休み学習支援教室
 - (1) 7月29日 19名
 - (2) 8月16日 14名
 - (3) 12月27日 15名

(2) 社会福祉啓発と福祉人材の育成

ア 社会福祉協議会だより発行

本会の趣旨を伝え、地域福祉活動を啓発するため、地域の問題を取り入れながら、より分かりやすく、充実した誌面づくりに努めました。

- 1 社会福祉協議会だより（年4回発行）
 - (1) 配布先
 - ア 市内全世帯 約22,500世帯
 - イ 福祉関係施設等 県内約100施設
 - (2) 内容
 - ア 173号（6月15日発行）
 - 子ども食堂紹介、事業計画・収支予算、市福祉推進員紹介、市多機関協働支援センター紹介、ささえあい相談所他
 - イ 174号（10月1日発行）
 - 共同募金・歳末たすけあい募金お願い、決算状況、介護サービス事業所紹介、健康福祉まつり案内、市成年後見センター紹介他
 - ウ 175号（1月15日発行）
 - 成年後見研修会、新年会長挨拶、福祉功労者表彰紹介、ボランティア紹介・生活福祉資金案内、市地域包括支援センター案内他
 - エ 176号（3月15日発行）
 - 住民座談会、共同募金実績報告、市生活自立支援センター案内、福祉サービス利用援助事業案内、同好クラブ案内他
- 2 社会福祉協議会会費集金用チラシ（7月発行）
 - (1) 配布先 市内全世帯 約22,500世帯
 - (2) 内容 事業内容及び予算状況

イ いきいき・ふれあい健康福祉まつり2019の企画・開催

福祉や医療の関係団体、市、本会職員による事務局会議を開催して、企画立案を行い、市健康センター及び市総合福祉センターを会場に市民の健康と福祉の祭典にふさわしい、誰もが楽しく参加できる多様なコーナーを開設しました。

- 1 期日 10月12日（土） ※10日（木）11日（金）は文化祭のみ開催
- 2 会場 市総合福祉センター・市健康センター

3 内容

(1) 市総合福祉センター会場

開会式（社会福祉功労者表彰）及び福祉のまちづくり講演会、マッサージ体験、縁日広場、文化祭、福祉団体・ボランティア紹介コーナー（地域福祉部紹介コーナー）、あったかフェテんどう

ア 講演 演題「地域の話し合いから生まれた支え合い活動」

イ 講師 よろずや琢成運営委員会委員長 田賀幸二氏

(2) 市健康センター会場

ヘルスチェックコーナー及び薬の相談コーナー、ピンクリボンスリースマイル運動コーナー、食生活改善コーナー、子どもの遊びの広場

4 参加人数（市総合福祉センター会場）

延1, 069名（昨年度延1, 078名）

ウ 社会福祉功労者表彰の実施

社会福祉の分野で顕著な貢献をされた個人・団体へ感謝を表し、その功績をたたえるため、審査会での検討を経て、健康福祉まつり開会式の機会に表彰を行いました。

1 市社会福祉功労者表彰審査会

(1) 期日 8月27日

(2) 委員数 7名

2 表彰式

(1) 期日 10月12日

(2) 会場 市総合福祉センター（いきいき・ふれあい健康福祉まつり2019開会式）

3 表彰受賞者

(1) 個人 4名（昨年度15名）

阿部俊男氏 松田隆明氏 五十嵐安正氏 中山輝美氏

(2) 団体 2団体（昨年度3団体）

男声合唱団ハミングバーズ きらめき会

エ ふれあいまちづくり講座開設

いきいきサロン等の福祉活動や小中学校での福祉教育を充実させるため、専門資格や特技を持っている講師の登録及び派遣を行いました。また、広報誌に掲載し講座の周知や講師の人材発掘に努めました。

1 登録講師 個人・団体 38講師（昨年度35講師）

2 講座内容 健康講話、音楽療法、点字・手話指導、折り紙、絵手紙、軽体操、昔語り、マジック、大道芸、楽器演奏、なつめろ、編み物、パソコン、ツボ講座

3 派遣実績

(1) 件数 67件（昨年度60件）

(2) 派遣場所 いきいきサロン、地域社会福祉協議会、福祉施設、小学校、市

オ 福祉のこころ実践校事業の実施

児童生徒の社会福祉・ボランティア活動への関心を高めるため、市内の小中学校を「福祉のこころ実践校事業」協力校に指定し、各学校との連携・協力のもと、地域ぐるみの福祉教育活動を展開しました。

- 1 福祉のこころ実践校活動 9校（昨年度8校）
 - (1) 学校名 天童南部小、天童中部小、成生小、蔵増小、寺津小、津山小
山口小、高橋小、荒谷小
 - (2) 補助金合計額 260,000円（昨年度260,000円）
 - (3) 内容 地域の福祉施設での交流、共同募金活動、地域行事のボランティア活動、高齢者等との世代間交流
- 2 福祉体験学習（サウンドテーブルテニス）
 - (1) 学校名 天童中部小
 - (2) 人数等 4年生 125名
 - (3) 期日 2月25日
 - (4) 場所 市総合福祉センター
 - (5) 講師 市視覚障害者サウンドテーブルテニスクラブ

カ 地域福祉活動計画の策定

天童市における自助・互助・共助・公助の協働による地域包括ケアや地域共生社会の実現に向けた、本会が担うべき役割、関係機関との連携、協働の方向性を示す第二次天童市地域福祉活動計画を策定委員会や住民座談会、関係者アンケート等の協力を得て策定し、多様な関係機関との連携強化に努めました。

- 1 第二次天童市地域福祉活動計画
 - (1) 計画期間 令和2年度から令和7年度（6年間）
 - (2) 基本理念 共に支え合おう 安心して心豊かに暮らせる 福祉のまち天童
- 2 策定委員会
 - (1) 期日
 - ア 7月22日
 - イ 9月26日
 - ウ 11月22日
 - エ 1月30日
 - オ 2月20日
 - (2) 策定委員数 15名
- 3 住民座談会
 - (1) 成生 1月15日 39名
 - (2) 荒谷 1月17日 27名
 - (3) 天童南部 1月25日 49名
- 4 関係者アンケート
 - (1) NPO・ボランティア登録団体 43名

- (2) 社会福祉法人 17名
- (3) 地域社会福祉協議会 26名
- (4) 自治会長 130名
- (5) 市民生委員・児童委員 117名
- (6) 市福祉推進員 137名

(3) ボランティア活動の育成

ア ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談対応や既存のボランティア団体への支援、情報提供を継続するとともに、ボランティア講習会の開催や社会福祉協議会だよりへのボランティア関連記事掲載により、幅広い市民層に対してボランティア活動の啓発を行いました。

- 1 ボランティア登録
 - (1) 個人 13名（昨年度11名）
 - (2) 団体 52団体（昨年度51団体）
- 2 ボランティア相談対応
 - (1) 周知及び活動依頼（ボランティアの紹介・参加協力依頼） 9件（昨年度10件）
 - (2) 活動希望（活動先の紹介） 7件（昨年度6件）
 - (3) ボランティア団体への支援
 - (4) ボランティア団体活動費助成事業の実施 4件（昨年度4件）
 - (5) ボランティア室の設置、ロッカー貸出
- 3 市民へのボランティア活動周知及び啓発 「いきいき・ふれあい健康福祉まつり2019」ボランティアコーナーへ12団体参加

イ 介護ボランティア支援事業の実施

65歳以上の高齢者が介護保険事業所（登録施設）や認知症カフェでボランティア活動に取り組む際、ボランティア登録及び施設の紹介を行いながら、ボランティア活動保険の掛金を助成することにより、高齢者のボランティア活動の普及と健康の保持、介護予防の増進を図りました。

- 1 登録福祉施設 16ヶ所（昨年度16ヶ所）
 - (1) 特別養護老人ホーム明幸園
 - (2) 特別養護老人ホーム清幸園
 - (3) 特別養護老人ホームあこがれ
 - (4) 介護老人保健施設あこがれ
 - (5) 介護老人保健施設ラ・フォーレ天童
 - (6) 通所介護事業所つるかめ、となりのつるかめ
 - (7) 通所介護事業所 認知症対応型共同生活介護サポートハウスふぁみりー
 - (8) 通所介護事業所くわのまちデイサービス
 - (9) 認知症対応型共同生活介護ハートステーション西原

- (10) 介護付有料老人ホームソーレ天童
 - (11) 特別養護老人ホームさくらホーム天童
 - (12) 地域密着型特別養護老人ホームきらめきの里
 - (13) グループホーム ライフステーション寺津
 - (14) 小規模多機能いこいのつるかめ
 - (15) 認知症対応型共同生活介護グループホームつるかめ
 - (16) 通所介護事業所福祉のひろば
- 2 活動登録者 24名（昨年度26名）
- (1) 男性 16名（昨年度18名）
 - (2) 女性 8名（昨年度8名）
- 3 活動内容 話し相手、相談相手、趣味活動指導、園芸活動、演芸披露

ウ 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

平成23年度に作成した災害ボランティアセンター設置マニュアルをもとに、行政やウェザーハート災害福祉事務所、地域社会福祉協議会、天童青年会議所、NPO団体等と協力して、有事に備えて災害ボランティアセンター立上げまでの協議やボランティア活動支援の訓練を実施しました。

また、10月13日からの台風19号の大雨被害により、宮城県丸森町では家屋被害として全壊101件や大規模半壊238件等の被害があったため、本会では職員派遣及び災害ボランティアバスの運行を行い、丸森町災害ボランティアセンターの運営支援に努めました。

- 1 災害ボランティアセンター設置訓練
 - (1) 事前打合
 - ア 期日 9月6日
 - イ 参加者 12名
ウェザーハート災害福祉事務所、公益社団法人天童青年会議所、特定非営利法人ふれあい天童、隊友ボランティア、天童中部地域社会福祉協議会、市危機管理室
 - (2) 実施訓練
 - ア 期日 10月6日（市総合防災訓練において実施）
 - イ 場所 老野森グラウンド（天童中部地域）
 - ウ 訓練内容
 - (ア) 設置訓練
 - a 本部からの情報収集・伝達
 - b マニュアルや被害想定を基に組織編成、人員配置等を検討
 - c 災害ボランティアセンターの立上げ
 - (イ) ボランティアオリエンテーション
 - a 災害ボランティアセンターとは
 - b ボランティアの心得について
 - (ウ) 運営訓練
 - a 受付班

b マッチング班

c 報告受付班

d ニーズ班

(e) 災害ボランティアセンターの周知訓練

エ 参加協力者 33名（昨年度32名）

ウェザーハート災害福祉事務所、公益社団法人天童青年会議所、特定非営利法人ふれあい天童、隊友ボランティア、天童中部地域社会福祉協議会、市危機管理室、市長公室まちづくり推進係、市社会福祉課保護係、県立天童高等学校

2 宮城県丸森町災害ボランティアセンターへの協力

(1) 職員派遣

ア 11月6日～11月10日（5日間） 1名

イ 11月29日～12月2日（4日間） 1名

(2) 災害ボランティアバス運行

ア 期日・参加人数

(ア) 11月16日 12名

(イ) 11月17日 8名

イ 参加者 天童福祉厚生会、天童まいづる会、隊友ボランティア、市シルバー人材センター、天童青年会議所、隊友ボランティア、市職員他

2 生活困窮者自立相談支援事業・各種相談援助事業の実施

(1) 天童市生活自立支援センター（生活困窮者自立相談支援事業所）の運営

生活困窮者の自立促進や尊厳の確保、生活困窮者の支援を通じた地域づくりを目的とする「生活困窮者自立支援法」に定められた必須事業である自立相談支援事業の委託を受けて、自立支援プランの策定や適切性の協議、支援提供者との自立支援プランの共有、自立支援プランの終結時等の評価や社会資源の状況の把握と創出に向けた検討等を行う支援調整会議を開催しながら、生活困窮者の相談対応や課題の評価・分析、ニーズの把握、住居確保給付金及び諸福祉制度等を活用した支援にあたりました。

さらに各関係機関との連携を図るため、生活困窮者自立支援法や制度概要、運営実績、生活困窮者支援に関する情報交換、今後の連携のあり方、必要な施策の意見交換等を行う運営会議の開催や市民生委員・児童委員等の福祉関係者のネットワークを構築する周知活動に努めました。

1 自立相談支援事業

(1) 新規相談件数 145件（昨年度123件）

(2) 自立支援プラン作成数 9件（昨年度9件）

(3) 相談者

本人、市社会福祉課、市保険給付課健康課、市民相談室、市民生委員・児童委員、他市町村生活自立支援センター、家族・親族、市地域包括支援センター、医療機関、相談支援専門員、上司、地域社会福祉協議会、ひとり親家

庭応援センター、知人の友人、市営住宅管理センター、介護支援専門員

(4) 相談内容（複数該当）

- ア 収入・生活費のこと 95件（昨年度74件）
- イ 税金や公共料金等の支払について 50件（昨年度28件）
- ウ 仕事探し、就職について 49件（昨年度28件）
- エ 家賃やローンの支払のこと 42件（昨年度30件）
- オ 病気や健康、障害のこと 40件（昨年度32件）
- カ 住まいについて 30件（昨年度26件）
- キ 家族との関係について 21件（昨年度21件）

(5) 支援実績

- ア 電話相談・連絡 375件（昨年度564件）
- イ 他機関との連絡調整 568件（昨年度420件）
- ウ 面談 280件（昨年度292件）
- エ 訪問・同行支援 138件（昨年度162件）

(6) 支援調整会議

- ア 回数 8回（昨年度9回）
- イ 期日 5月21日・6月26日・7月26日・8月30日
10月30日・12月4日・1月9日・3月3日

(7) 運営会議

- ア 期日 2月18日
- イ 参集者 13名

山形公共職業安定所、日本司法支援センター山形地方事務所、やまがた若者サポートステーション、精神保健医療機関（秋野病院）、天童市学童保育連絡協議会、天童市自立支援協議会相談支援部会、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保険給付課介護支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉課障がい支援係

2 住居確保給付金

- (1) 相談件数 11件（昨年度7件）
- (2) 申請件数 3件（昨年度1件）
- (3) 決定件数 3件（昨年度1件）

(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業の実施

平成30年度より、市から委託を受けて、モデル事業である「多機関の協働による包括的支援事業」を実施し、介護や障がい、育児、貧困等の複合的な問題を抱え、単一の機関では支援が困難なケースの相談や困りごとを抱えながらも、どこに相談したらよいかわからないといった制度の狭間の問題を抱えるケースの相談を受け、関係機関のコーディネートを行い、複雑化した課題の解決に努めました。

また、各分野の関係機関を参集する運営会議（相談支援包括化推進会議）の開催や市民生委員・児童委員、市内関係機関等への周知活動を通し、相談支援のネットワーク構築に努めました。

1	相談件数	87件（昨年度69件）
2	支援実績	
	(1) 電話相談・連絡	262件（昨年度345件）
	(2) 訪問及び同行支援	140件（昨年度147件）
	(3) 面談	223件（昨年度156件）
	(4) 他機関との連絡・調整	458件（昨年度491件）
	(5) ケース会議（支援調整会議含む）	44件（昨年度31件）
3	運営会議（相談支援包括化推進会議）	
	(1) 期日	2月18日
	(2) 参集者	13名
	山形公共職業安定所、日本司法支援センター山形地方事務所、やまがた若者サポートステーション、医療法人社団斗南会秋野病院、市学童保育連絡協議会、地域生活支援センター天花、市地域包括支援センター中央、市地域包括支援センターめいこうえん、市納税課納税係、市保険給付課介護支援係、市健康課市民健康係、市子育て支援課家庭支援係、市社会福祉課障がい支援係	
4	周知活動	
	市福祉推進員新任研修（6月5日）、市介護サービス事業所連絡会（6月11日）、地域社会福祉協議会連絡会議（9月2日）、歳末たすけあい配分委員会（市内13地域・12月4日～6日）	

(3) その他の相談援助事業の実施

ア 福祉サービス利用援助事業の実施

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方、日常生活に不安のある方が、安心して自立した生活を送れるよう、他機関や他制度と調整しながら、金銭管理や通帳の預かり等の援助、相談事業を行いました。

1	利用者	19名（昨年度18名）
	(1) 高齢者	9名（昨年度9名）
	(2) 知的障がい者	4名（昨年度2名）
	(3) 精神障がい者	6名（昨年度7名）
2	サービス提供回数（生活支援員5名、専門員2名で対応）	204回（昨年度179回）
3	相談及び連絡調整回数（専門員2名で対応）	666回（昨年度517回）
4	新規相談	20件（昨年度20件）
5	支援内容	通帳等預かりや生活費の払出、金銭等に関わる相談支援、福祉サービス利用料等の支払い、口座振替等の手続

イ 法人後見業務・成年後見センター事業の実施

平成30年度より、認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方に対して、本会が法人として成年後見人等に就任し、財産管理や身上監護を通して支援を行いました。なお、法律関係者や医療関係者、福祉関係者、行政関

係者、学識経験者で構成した運営委員会を開催し、法人後見事業の適正な運営を図りました。

また、市から成年後見センター事業の委託を受けて、成年後見制度の利用相談や必要に応じて本人及び親族の家庭裁判所に対する申立て手続の助言や指導の他、周知活動を実施しながら制度の利用促進に努めました。

1 法人後見事業

(1) 受任件数（認知症高齢者） 3 件（昨年度 1 件）

(2) 運営委員会

ア 期日 1 2 月 2 0 日

イ 委員数 5 名

2 成年後見センター事業（成年後見制度に関する相談や家庭裁判所への申立て支援、普及啓発活動等）

(1) 成年後見制度に関する相談支援 2 2 件（昨年度 2 7 件）

ア 制度全般に関する相談 7 件（昨年度 4 件）

イ 制度利用及び申立てに関する相談 8 件（昨年度 2 0 件）

ウ 法人後見受任に関する相談 7 件（昨年度 4 件）

(2) 権利擁護・成年後見研修会の開催

ア 期日 1 2 月 3 日

イ 会場 市総合福祉センター

ウ 参加者数 1 2 4 名

エ 講師

(ア) 講談協会真打 神田織音氏

(イ) 山形家庭裁判所主任書記官 加藤友彦氏

山形家庭裁判所訟廷庶務係長 井上由紀氏

(3) 周知活動

市福祉推進員新任者研修（6 月 4 日）、地域社会福祉協議会会議（9 月 2 日）、社協だより（1 0 月 1 日号）

ウ 生活福祉資金・たすけあい資金の貸付及び償還指導

主に低所得世帯の支援策として、安定した生活の実現を目的に市民生委員・児童委員及び行政と連携しながら、生活費や修学費用等の貸付を行いました。

また、借受人の順調な償還を図るため、文書や電話での連絡に加え、相談会の開催等により生活状況把握及び償還指導を強化しました。

1 生活福祉資金

(1) 貸付状況

ア 相談 1 5 0 件（昨年度 1 5 0 件）

イ 申請 1 8 件（昨年度 1 1 件）

ウ 貸付 1 8 件（昨年度 1 1 件）

(2) 償還状況

ア 償還完了 9 件（昨年度 1 1 件）

イ 償還免除 1 件（昨年度 0 件）

- ウ 延貸付件数 164件（昨年度159件）
 - (ア) 償還開始前 35件（昨年度41件）
 - (イ) 順調開始（直近で滞納回数0～2回） 55件（昨年度56件）
 - (ウ) 滞納 74件（昨年度62件）
 - a 生活状況把握 69件（昨年度56件）
 - b 行方不明 5件（昨年度6件）
- (3) 償還指導 対象59件（昨年度49件）
 - ア 償還面接相談会
 - (ア) 期日 2月28日
 - (イ) 件数 4件（昨年度1件）
 - イ 面接日変更 2件（昨年度3件）
 - ウ 訪問 新型コロナウイルス感染予防のため中止
 - エ 電話 6件（昨年度4件）
- 2 たすけあい資金貸付状況
 - (1) 貸付 6件（昨年度6件）
 - (2) 償還完了 6件（昨年度6件）
 - (3) 延貸付件数 17件（昨年度17件）

エ ささえあい相談所（法律相談）

市民の法律に関する日常生活上の困りごとや心配ごとの解決に向け、身近で気軽な相談の場を提供するため、山形県弁護士会より会員を派遣いただき、弁護士による無料法律相談会を開催し法律トラブルへの初期対応を図りました。

- 1 無料法律相談会
 - (1) 開催日 毎月第2水曜日
 - (2) 開催時間 午後1時30分から午後4時 ※1人30分
 - (3) 相談件数 43件（昨年度49件）
- 2 相談内容 債務や金銭の貸借、離婚、相続、調停等

オ フードバンク事業の実施

NPO 団体等より供与いただいた食品等を生活困窮者等の必要と認められる世帯や団体等に対し、無料で提供を行い食糧支援に努めました。

- 1 供与団体・供与品
 - (1) やまがた福わたし（フードバンク山形中央）
 - ア 食品（米、パックご飯、乾麺、フリーズドライ、飲料、調味料、カップラーメン、菓子、缶詰、野菜、レトルト食品）
 - イ 日用品
 - ウ 文房具
 - (2) コープフードバンク
 - 食品（レトルト食品、おでん、カップラーメン、スティック飲料、缶詰、乾麺、調味料、アルファーマイ）
- 2 提供先

- (1) やまがた福わたし（フードバンク山形中央）分
 - ア 生活困窮者 16件
 - （ア） 個別支援 9件
 - （イ） 窓口提供 7件
 - イ 学習支援教室及び母子寡婦福祉連合会 4件
 - ウ 子ども食堂 3件
- (2) コープフードバンク分
 - ア 生活困窮者 12件
 - イ 地域包括支援センター 3件
 - ウ 子ども食堂 1件

カ 避難者生活相談支援事業の実施

東日本大震災の影響により、県内に避難されている避難者の方々の安定した日常を確保するとともに、円滑な帰還や定住、生活再建を支援するため「避難者生活支援」事業に取り組みました。

県社会福祉協議会の委託を受け、2名の相談員が避難者の方々の地域での孤立防止及び社会参加の機会、仲間づくりを目的に、「訪問活動」「つどいの場づくり」を展開しました。また、帰還や定住、生活再建等に向けた情報収集、情報提供及び各種関係機関との連携をはかり生活再建を支援しました。

1 訪問活動実績

- (1) 訪問回数 163回（昨年度177回）
- (2) 面接回数 66回（昨年度84回）
- (3) 訪問対象世帯 21世帯（昨年度22世帯）

2 避難者の集い（ちえつと寄れ茶）

- (1) 開催実績 3回 延13人（昨年度4回 延31人）
 - ア 4月18日 4名
 - イ 7月25日 5名
 - ウ 9月19日 4名
 - エ 3月12日 中止
- (2) 内容 地元のお菓子と飲み物を用意してお茶会を楽しむ

3 共同作業や旅行を通した仲間づくり

- (1) 開催実績 8回 延44名（昨年度8回 延71名）
 - ア 5月24日 6名
 - イ 6月11日 8名
 - ウ 8月29日 5名
 - エ 10月31日 8名
 - オ 11月14日 4名
 - カ 12月19日 5名
 - キ 1月23日 5名
 - ク 2月14日 3名
- (2) 内容 黒ごまプリンと黒糖蒸しパン作り、でん六工場見学の旅、まちの保

健室 i n 天童、金融犯罪被害防止の講話、鳴子日帰り旅行、れんこんチヂミ
とタピオカドリンクを作って食べよう会、書き駒体験会、輪投げ大会

4 関係機関との連携・協力

- (1) 福島県避難者支援課駐在員（随時）
- (2) 山形県復興・避難者支援室（随時）
- (3) 市危機管理室（月 1 ～ 2 回）
- (4) 市生活自立支援センター（随時）
- (5) 市地域包括支援センター（随時）
- (6) ボランティア団体（随時）

3 共同募金活動

(1) 一般募金・歳末たすけあい運動への協力

社会福祉法人山形県共同募金会天童市共同募金委員会として積極的な共同募金運動を展開し、一般世帯や法人、学校、職域などの多くの方々からの理解と御協力を得ることができました。

1 一般募金

- (1) 募金額 8, 9 6 8, 2 5 2 円（昨年度 8, 6 9 9, 7 3 3 円）
- (2) 募金件数 1 8, 5 2 9 件（昨年度 1 8, 3 4 1 件）

2 歳末たすけあい運動

- (1) 募金額 5, 1 4 2, 6 5 9 円（昨年度 4, 9 7 0, 2 1 7 円）
- (2) 募金件数 1 6, 2 8 4 件（昨年度 1 6, 1 7 2 件）
- (3) 歳末たすけあい色紙頒布会

ア 共催 宝樹社

イ 会場・期日

(ア) 市美術館ロビー 1 2 月 5 日から 1 1 日

(イ) 市役所 1 階市民ロビー 1 2 月 1 3 日から 1 9 日

ウ 作品数 2 7 点（昨年度 2 9 点）

(ア) 色紙 2 4 点

(イ) ハガキ 2 点

(ウ) 短冊 1 点

(エ) 募金額（歳末たすけあい運動募金額に含む） 9 6, 6 5 9 円（昨年度 9 3, 7 5 0 円）

3 義援金 2 3, 1 0 0 円 3 件（昨年度 1 1 2, 1 6 9 円 1 2 件）

- (1) 令和元年 8 月佐賀県豪雨災害義援金 2 1, 1 0 0 円 2 件
- (2) 令和元年台風第 1 9 号災害義援金 2, 0 0 0 円 1 件

(2) 歳末たすけあい募金の適正配分

歳末たすけあい募金の戸別募金については、歳末たすけあい配分委員会担当者会議において、要支援世帯や地域福祉事業等への適正な配分のあり方等を検討し、各地域

の配分対象基準の平準化や適正配分を実施いたしました。なお、篤志寄付についても実施いたしました。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 歳末たすけあい募金戸別募金配分内容<ol style="list-style-type: none">(1) 配分額 4, 9 1 6, 0 0 0 円（昨年度 4, 8 4 6, 4 6 7 円）(2) 配分件数 8 0 8 件（昨年度 7 7 7 件）(3) 歳末たすけあい配分委員会担当学会議期日 1 0 月 2 日(4) 歳末たすけあい配分委員会<ol style="list-style-type: none">ア 日程 1 2 月 4 日から 6 日イ 開催回数 1 3 地域毎に開催(5) 歳末たすけあい配分委員会委員
地域社会福祉協議会、市民生委員・児童委員、町内会、市福祉推進連絡会、市連合婦人会、小学校、中学校、市立公民館他2 歳末たすけあい募金篤志寄付配分内容<ol style="list-style-type: none">(1) 配分先等<ol style="list-style-type: none">ア N P O 法人ふれあい天童 7 0, 0 0 0 円イ 天童市社会福祉協議会 1 5 6, 6 5 9 円 |
|--|

(3) 地域福祉活動推進プロジェクト(テーマ型募金)への対応

県共同募金会が「テーマ型募金」公開審査会を開催しましたが、市関連の申請団体がありませんでした。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 「テーマ型募金」公開審査会期日 8 月 2 日2 参加申請団体 3 団体（県全体） |
|--|

4 天童市地域包括支援センター中央の運営

(1) 総合相談支援事業

ア 総合相談・支援体制の充実

高齢者本人や家族等の相談内容に合わせ、関係機関との連携を図り、ワンストップサービスを意識した相談支援に努めました。

※相談件数は、延件数です。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 相談件数 1, 6 7 5 件（昨年度 1, 7 4 4 件）<ol style="list-style-type: none">(1) 介護保険関係、ケアマネ紹介及び申請代行 6 7 0 件（昨年度 6 8 4 件）(2) 医療との連携及び退院支援について 1 2 8 件（昨年度 1 7 3 件）(3) 困難事例（ア～ク） 5 1 6 件（昨年度 4 9 5 件）<ol style="list-style-type: none">ア 認知症高齢者世帯 1 5 3 件（昨年度 1 0 8 件）イ 精神・知的・身体障害者等家族世帯 1 9 4 件（昨年度 1 7 0 件）ウ 経済的困難 5 4 件（昨年度 1 0 4 件）エ 家族・親戚からの支援困難 4 5 件（昨年度 3 5 件）オ 支援受入拒否 4 0 件（昨年度 4 9 件） |
|--|

- カ 地域からの孤立 2 件（昨年度 7 件）
- キ 家族の介護力不足 28 件（昨年度 21 件）
- ク 利用できる施設不足 0 件（昨年度 1 件）
- (4) 虐待 21 件（昨年度 56 件）
- (5) 虐待の可能性 15 件（昨年度 26 件）
- (6) 成年後見制度の活用、財産及び遺言関係 54 件（昨年度 21 件）
- (7) 消費者被害 5 件（昨年度 0 件）
- (8) その他 266 件（昨年度 289 件）
- 2 受付形態別件数 1, 171 件（昨年度 1, 104 件）
- (1) 電話 599 件（昨年度 603 件）
- (2) 訪問 269 件（昨年度 256 件）
- (3) 来所 284 件（昨年度 239 件）
- (4) 会議 19 件（昨年度 6 件）

イ 在宅介護支援センターとの連携

地域の相談窓口の一つである在宅介護支援センターと連携しながら、情報共有及び同行訪問等により、地域の高齢者世帯に対して相談支援を行いました。

市在宅介護支援センター

- (1) 清幸園
- (2) ラ・フォーレ天童
- (3) あこがれ

ウ 地域におけるネットワークの構築

地域社会福祉協議会の研修会及び民生委員・児童委員定例会への参加等、地域における関係者との連携強化を図り、地域の高齢者の見守り活動に係る意識啓発に努めました。

- 1 市在宅介護支援センター連絡会（月 1 回）への参加
- 2 グループホーム等運営推進会議（4ヶ所 2ヶ月 1回）の参加
- 3 地域密着型特別養護老人ホーム運営推進会議（3ヶ所 2ヶ月 1回）の参加

エ 包括支援センターニュース発行の充実

消費者被害の防止、地域の福祉力向上を目的に、市民生委員・児童委員、市福祉推進員、関係機関（行政、交番、駐在所、医療機関）、公共機関（行政窓口、公民館等）及び介護サービス事業所等に配布を行い広報活動に努めました。

天童市地域包括支援センターニュース

- (1) 配布先 民生委員・児童委員、福祉推進員、自治会長、関係機関等
約 500 部
- (2) 内容
 - ア 36 号（7 月発行）
包括支援センターの役割紹介、運転免許証の返納について、アポ電の注意喚起

- | | |
|---|--|
| イ | 37号（12月発行）
除雪関連情報、認知症施策について、クーリングオフ制度について |
| ウ | 38号（3月発行）
心配な高齢者はいませんか、IP電話便乗商法、花粉症対策 |

オ 地域支援事業申請に係わる支援及び調査等の代行業務

在宅介護や住み慣れた地域での高齢者の生活を支えることを目的に、福祉サービスの相談や申請代行、利用者調査、不在時の安否確認等を行いました。

- | | |
|---|-------------|
| 1 | 乳酸飲料サービス事業 |
| 2 | 見守り配食事業 |
| 3 | 紙おむつ支給事業 |
| 4 | 軽度生活援助事業 |
| 5 | 緊急通報体制等整備事業 |

(2) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、包括的・継続的なケア体制を実施するため、医療機関を含めた関係機関との連携体制を構築し、地域の介護支援専門員、介護サービス事業者等の連携及び質の向上のための支援を行いました。

ア 地域ケア会議の開催

個別の検討を中心としたケア会議を開催しました。

地域ケア会議等の開催回数	2回（昨年度1回）
--------------	-----------

イ 自立支援型地域ケア会議の開催

天童市と協力して、医療専門職の参加をいただき自立支援型地域ケア会議を開催しました。

自立支援型地域ケア会議等の開催回数	8回（昨年度9回）
-------------------	-----------

ウ 主任介護支援専門員会議の開催

市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員の資質向上と活動の支援を目的に、学習会や市介護支援専門員連絡会の運営についての検討を中心に会議を開催しました。

主任介護支援専門員会議	4回	86名
(1)	5月14日	
ア	内容	今年度活動案について、主任介護支援専門員会議要綱について
イ	参加者	22名
(2)	8月20日	
ア	内容	次回介護支援専門員連絡会、次年度事業計画について
イ	参加者	19名
(3)	10月16日	

- ア 内容 地域の社会資源について
- イ 参加者 20名
- (4) 12月17日
 - ア 内容 医療機関との連携について
 - イ 参加者 25名
- (5) 3月11日
 - ア 内容 次年度の事業計画について
 - イ 参加者 新型コロナウイルス感染予防のため中止

エ 介護支援専門員連絡会の開催

主任介護支援専門員会議の検討内容を踏まえ、介護支援専門員連絡会を開催しました。

- 介護支援専門員連絡会 4回 297名
- (1) 4月22日
 - ア 内容 天童市健康福祉部保険給付課よりお知らせ・薬剤師による服薬指導について・天童市地域包括支援センターよりお知らせ・その他
 - イ 参加者 104名
 - (2) 6月11日
 - ア 内容 天童市生活自立支援センター・天童市多機関協働支援センターについて
 - イ 参加者 99名
 - (3) 9月19日
 - ア 内容 ケアプラン点検の視点について
 - イ 参加者 49名
 - (4) 1月21日
 - ア 内容 障がい者（児）福祉制度について
 - イ 参加者 45名
 - (5) 3月23日
 - ア 内容 事例検討会
 - イ 参加者 新型コロナウイルス感染予防のため中止
- ※ 介護サービス事業所連絡会と天童市東村山郡医師会及び市地域包括支援センター合同研修会の開催時も合同開催。

オ 介護サービス事業所連絡会の開催

介護支援専門員と介護サービス事業所との連携の強化を目的に、介護サービス事業所連絡会を開催しました。

- 第1回 介護サービス事業所連絡会
- (1) 期日 4月22日
 - (2) 内容
 - ア 天童市健康福祉部保険給付課よりお知らせ
 - イ 薬剤師による服薬指導について

- ウ 天童市地域包括支援センターよりお知らせ
- エ その他

(3) 参加者 104名

- ア 介護支援専門員 33名
- イ 介護サービス事業所職員 51名
- ウ 市地域包括支援センター 13名
- エ 市保険給付課 7名

第2回 介護サービス事業所連絡会

(1) 期日 6月11日

(2) 内容

- ア 天童市生活自立支援センターの紹介
- イ 天童市多機関協働支援センターの紹介
- エ その他

(3) 参加者 99名

- ア 介護支援専門員 36名
- イ 介護サービス事業所職員 48名
- ウ 市地域包括支援センター 12名
- エ 市保険給付課 3名

カ 医療と介護の連携

医療と介護の連携強化を目的に、市と天童市東村山郡医師会との合同研修会を開催しました。また、在宅医療を希望する方の相談窓口として、天童市東村山郡医師会と連携を行いました。

1 天童市東村山郡医師会及び市地域包括支援センター合同研修会

(1) 期日 11月29日

(2) 内容

- ア 報告 在宅医療・介護連携「エール」の活動状況について
- イ 講演 「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」
講師 北広島町牡鹿原診療所所長 東條 還樹 先生

(3) 参加者 157名

- ア 介護保険事業所 98名（天童市95名・中山町3名）
- イ 医師会 9名・歯科医師会 9名・薬剤師会 6名・事務局 3名
- エ 行政 16名（天童市13名・中山町3名）
- オ 地域包括支援センター 16名

2 在宅医療・介護連携室「エール」との連携

件数 0件（昨年度6件）

- ア 医療 0件（昨年度1件）
- イ 歯科 0件（昨年度5件）

キ 地域包括支援センター間の連絡調整

市地域包括支援センター間の活動報告や困難事例等の情報共有を行い、差異のない支援ができるように努めました。

市地域包括支援センター合同ミーティング

- (1) 開催回数 12回（月1回）
- (2) 参加者
 - ア 市保険給付課
 - イ 市地域包括支援センター中央
 - ウ 市地域包括支援センターめいこうえん

(3) 権利擁護事業

高齢者が様々な困難を抱えても、住み慣れた地域で尊厳のある生活を維持し、安心して暮らすことができるよう、市や近隣住民、市民生委員・児童委員、介護支援専門員等の連携を図り、専門的・継続的な支援を行いました。また、エンディングノートを発行し、将来の備えのための意識啓発に努めました。

ア 消費者被害の防止対策の推進

- 1 天童市地域包括支援センターニュースによる啓発活動（年3回）
- 2 市消費生活センターとの連携（随時）

イ 成年後見センター事業・福祉サービス利用援助事業の周知及び利用支援

寄せられた相談内容を精査し、対象となる高齢者の判断能力に応じた支援に努めました。精神や知的、認知症等の家族、身寄りのいない一人暮らしの方の相談対応を行いました。

成年後見制度申立支援件数 8件（昨年度0件）

ウ 虐待通報への対応

虐待の疑いのある相談内容を行政担当者に連絡するとともに、対応について協議をし、一時的な分離などの緊急対応を行いました。また、虐待等の通報の受付や内容の確認、実態把握の迅速化、養護者の支援のため他機関との連携を行いました。

虐待通報件数 延21件（昨年度延56件）

(4) 認知症施策の推進

市の委託を受けた認知症地域支援推進員が、権利侵害を受けやすい認知症高齢者対策として、認知症についての住民理解の促進に努めました。また、医療機関や地域の支援機関と連携を図り、認知症の人が住み慣れた環境で安心して暮らし続けることができるよう支援しました。

ア 認知症サポーター養成講座

認知症の方が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に対する意識啓発に努めました。

認知症サポーター養成講座 5回 284名

- (1) 5月16日

ア 場所 天童自動車商会

イ	対象	職員
ウ	参加者	14名
(2)	6月5日	
ア	場所	市立第二中学校
イ	対象	市立第二中学校2年生
ウ	参加者	101名
(3)	10月7日	
ア	場所	市立第四中学校
イ	対象	市立第四中学校2年生
ウ	参加者	122名
(4)	2月7日	
ア	場所	市立天童北部公民館
イ	対象	天童北部地域住民
ウ	参加者	13名
(5)	2月14日	
ア	場所	市立天童中部公民館
イ	対象	天童中部地域住民
ウ	参加者	34名

イ 認知症地域支援推進員活動の充実

市及び市地域包括支援センターめいこうえんに配置されている市地域支援推進員と定期的に会議を開催し、認知症の方が安心して過ごせる地域づくりの検討を行いました。

ウ 認知症初期集中支援チームとの連携

月1回、認知症初期集中支援チーム会議に参加し、認知症高齢者が適切な医療や介護サービス利用につながるよう、検討及び支援を行いました。

エ 認知症カフェの運営協力

認知症に係るすべての方を対象に認知症の不安や相談等を気軽にできる場及び情報交換の場として、市が毎週水曜日に開催している「あったかフェテンドウ」の運営協力支援に努めました。

オ 認知症事前登録申請代行

認知症等により、徘徊、または徘徊するおそれのある高齢者及びその家族を支援することを目的とした認知症事前登録事業への協力支援及び広報活動に努めました。

市地域包括支援センター中央エリア登録者数	64名（昨年度64名）
----------------------	-------------

(5) 介護予防・日常生活支援総合事業

65歳以上の方々を対象に、その置かれている環境や心身の状況に応じて、必要性に合わせた多様なサービスが提供されるように努めました。

ア 介護予防ケアマネジメント

要支援に認定された方及び基本チェックリストで総合事業対象者に判定された方を対象として自立支援を目的に、適切なサービスが提供されるようケアマネジメント（ケアプラン作成）を行いました。

- | |
|--|
| 1 介護予防ケアマネジメントA 2,105件（昨年度1,867件） |
| (1) 策定機関 |
| ア 本会 1,714件（昨年度1,539件） |
| イ 委託先 391件（昨年度328件） |
| (2) 対象サービス |
| ア 訪問型A・通所型A（従前型） 2,043件 |
| イ 通所型C（コツコツ運動教室） 62件 |
| 2 介護予防ケアマネジメントB 115件（昨年度51件） |
| (1) 策定機関 |
| ア 本会 115件（昨年度51件） |
| (2) 対象サービス |
| ア あっぱれ元気教室 57件 |
| イ ショッピングリハビリ 58件 |
| 3 一般介護予防事業 |
| 一般市民及び高齢者の介護予防を意識した講座内容を企画し、さわやか健康教室を開催しました。 |
| (1) 回数 10回（昨年度10回） |
| (2) 参加者 218名（昨年度250名） |
| (3) 内容 |
| ア 座ってやさしい太極拳 |
| イ おいしく元気に！簡単料理教室～ミニ講話と料理実習～ |
| ウ お口の健康～噛むバック～ |
| エ スローエアロビックで全身運動
～歌謡曲に合わせて楽しく認知症予防～ |
| オ 音楽で心のリフレッシュを！ |
| カ 心とからだの元気アップ！ |
| キ 知っているようで知らない薬の世界 |
| ク みんなで楽しくながら運動 |
| ケ ヨガで心と身体をほっと HOT！ |
| コ 自分の身体は自分でコントロール！
～自宅で出来る気楽な運動と正しい歩き方を学ぼう～ |

(6) 指定介護予防支援事業

要支援状態であっても、その悪化をできる限り防ぐことを目的に、より効果的なサービスの利用のためのケアプラン作成を行いました。

ア 給付管理の適正化

要支援1・2の認定を受けた方や家族と相談しながら、自立に向けた目標を設定し、適切な介護予防プランの作成・評価に努めました。

イ 業務委託環境の整備

要支援１・２の認定を受けた方の心身の状況を確認し、要支援から要介護状態へ移行する可能性の高い方については、継続性の観点から居宅介護支援事業所へ委託を行い、適正な予防プラン作成の支援に努めました。

予防プランに伴う請求件数 １，５５２件（昨年度１，５３９件）

(1) 本会 ９３８件（昨年度９４８件）

(2) 委託 ６１４件（昨年度５９１件）

(7) 在宅高齢者訪問指導事業(すこやか訪問)

市からの委託を受けて、介護保険の認定を受けていない７５歳以上の単身高齢者世帯を対象に生活習慣予防や閉じこもり予防、寝たきり予防等について、訪問等により、健康状態や生活の様子などを確認し、必要時には市の高齢者生活支援事業等の紹介を行いました。

対象者数 ５０名

(8) 実習生の受入れ

将来、医療・福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、市地域包括支援センターの業務に対する理解と人材育成を目的として受け入れを行いました。

1 山形大学医学部看護学科実習生 ２名

2 県立保健医療大学保健医療学部看護学科実習生 ２名

5 介護サービス事業所の運営

(1) 天童市居宅介護支援事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく指定居宅介護支援事業の実施

法令の定めに基づき、要介護者や要支援者のケアプラン作成における適切な件数の遵守及び特定居宅介護支援事業所の指定の維持を図り、質の高い支援の提供と業務管理体制の整備に努めました。

※作成件数は、月の作成数の累計です。

作成件数 １，０８３件（昨年度１，１５７件）

(1) 居宅介護支援 ９３９件（昨年度１，００８件）

(2) 予防介護支援・総合事業 １４４件（昨年度１４９件）

イ 介護保険に関する各機関との連絡調整及び手続代行

病院や施設から在宅生活への円滑な移行を目指し、利用者の状況に応じた環境の整備や相談対応を心がけました。また、地域包括支援センターをはじめとする関係機関との連携強化、各種研修会に参加し、利用者へのより良い支援に努めました。

- | |
|----------------------------|
| 1 事業所内会議の実施 週 1 回 |
| 2 打合わせ 全日 |
| 3 研修会への参加 1 1 回（昨年度 2 0 回） |

ウ 要介護認定調査事業

介護認定の円滑な更新を目指し、担当する利用者の認定更新申請代行を適切に行うとともに、利用者本人の状況を正確に反映する認定調査に努めました。

- | |
|-------------------------|
| 1 市内 8 9 件（昨年度 1 0 9 件） |
| 2 市外 2 件（昨年度 4 件） |

エ 他法人の居宅介護支援事業者との共同事例検討会及び研修会の開催

市内の他法人が運営する居宅介護支援事業者と共同で研修会等を開催し、特定事業所としての算定要件を満たすと共に、介護支援専門員としての資質向上に努めました。

- | |
|---|
| 1 3 回開催（5 月・8 月・1 1 月）＊2 月は新型コロナウイルスのため中止 |
|---|

オ 実習生の受入れ

介護支援専門員実務研修受講者にケアマネジメントの実践現場や要介護者の生活の実態を知る事を目的として、実習受け入れを行い指導に努めました。

- | |
|-------------|
| 1 実習生 1 名 |
| 2 実習期間 3 日間 |

(2) 天童市訪問介護サービス事業所の運営

ア 介護保険制度に基づく訪問介護事業

居宅サービス計画に基づき、利用者毎の目標に近づけるようなサービス提供を目指しました。特定事業所の指定の維持を図るために月 1 回の会議を行い、利用者の情報の共有を図ると共に提供する介護サービスの質の向上に努めました。

※利用者件数は、月の利用者の合計数です。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 利用者件数 4 2 4 件（昨年度 4 8 2 件） |
| (1) 要支援・総合事業 1 6 2 件（昨年度 1 5 9 件） |
| (2) 要介護 2 6 2 件（昨年度 3 2 3 件） |

イ 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業、同行援護事業

障がいを持つ方が地域で可能な限り自立した生活を続けられるよう、利用者毎のニーズに添った居宅介護計画の作成とサービス提供を行いました。特定事業所の指定の維持を図るために、介護保険同様月 1 回の会議を行い、サービスの質の向上に努めました。

- | |
|------------------------------|
| 1 利用者件数 3 9 1 件（昨年度 4 0 5 件） |
| 2 実契約数 4 5 件（昨年度 4 6 件） |

ウ 地域支援事業に基づく移動支援事業の実施

市からの委託事業として屋外移動に支障がある障がいを持つ方を対象に、地域活動や社会参加のための外出援助を行いました。

- | | | |
|---|-------|-------------|
| 1 | 利用者件数 | 14件（昨年度29件） |
| 2 | 実契約数 | 3件（昨年度3件） |

エ エンゼルサポーター派遣事業の実施

市からの委託事業として、双子以上を養育している保護者に対し、安心して子どもを産み育てられる支援を行いました。

- | | | |
|---|-------|-------------|
| 1 | 利用者件数 | 13件（昨年度7件） |
| 2 | 実契約数 | 2世帯（昨年度2世帯） |

オ まごころ支援事業（自主事業）の実施

介護保険、障害福祉サービス事業等にも該当しない方々に対して、本会の自主事業を利用することによって、安心して在宅生活が続けられる支援に努めました。

- | | | |
|---|-------|-------------|
| 1 | 利用者件数 | 38件（昨年度49件） |
| 2 | 実契約数 | 7件（昨年度9件） |

カ 養育支援訪問事業の実施

市からの委託事業として、保護者に対して安心して養育できるよう育児、家事援助の支援を行いました。

- | | | |
|---|-------|-------------|
| 1 | 利用者件数 | 12件（昨年度13件） |
| 2 | 実契約数 | 2件（昨年度3件） |

キ 実習生・研修生の受入れ

福祉人材育成を目的に将来福祉分野で活躍しようとする学生を中心に、介護の専門知識と介護技術の指導に努めました。

- | | | |
|---|------------------|-------------|
| 1 | 県立天童高等学校 | |
| | (1) 前期実習生（3年生） | 20名（昨年度7名） |
| | (2) 後期実習生（2年生） | 13名（昨年度20名） |
| 2 | 介護労働安定センター介護労働講習 | 2名 |

6 天童市総合福祉センターの管理・経営

(1) 施設等の貸出

ア 福祉関連の事業、団体を優先にした貸出実施

福祉関係団体については2ヶ月前、福祉関係以外の団体については1ヶ月前から予約を開始し、福祉活動への優先的な開放を行うとともに、より多くの市民に安全に安心して、利用いただけるよう効率的な貸し出しに努めました。

- | | | |
|---|-------|---------------------|
| 1 | 利用団体数 | 3,466団体（昨年度3,398団体） |
|---|-------|---------------------|

- | | |
|----------|---------------------|
| (1) 市関係 | 526団体（昨年度500団体） |
| (2) 福祉関係 | 2,452団体（昨年度2,372団体） |
| (3) その他 | 488団体（昨年度526団体） |
| 2 利用人数 | 48,433人（昨年度48,719人） |
| (1) 市関係 | 10,994人（昨年度9,966人） |
| (2) 福祉関係 | 27,865人（昨年度27,710人） |
| (3) その他 | 9,574人（昨年度11,043人） |

※天童市総合福祉センターの利用状況の詳細は別表1に記載

イ 抽選による受付実施

毎月の予約開始日に予約抽選会を開催し、平等な受付に努めました。

- | | |
|-----------|--|
| 1 抽選日 | 毎月1日（1日が土・日・祝日の場合は、次の平日となり、1月のみ5日とし、1月5日が土・日・祝日の場合は、次の平日）の午前9時 |
| 2 抽選会参加団体 | 約20団体 |

ウ 備品貸出事業の実施

無料で備品の貸出しを行い、地域福祉や地域活動の振興等に努めました。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1 車椅子 貸出回数 | 51回（昨年度54回） |
| 2 輪投げ 貸出回数 | 8回（昨年度11回） |
| 3 外用いす及びテーブル 貸出回数 | 12回（昨年度11回） |
| 4 グラウンドゴルフ用具 貸出回数 | 8回（昨年度13回） |
| 5 集会用テント 貸出回数 | 8回（昨年度5回） |

(2) 良好な環境整備

ア 日常点検及び定期的なメンテナンス等による施設の良好な環境整備

毎朝の総合的な施設・設備の点検や月1回の定期清掃、各設備等の定期点検を行い、故障箇所等の早期発見や修繕等の迅速な対応に努めました。

- | | |
|--------|---|
| 1 修繕箇所 | (1) 事務室照明器具 LED 化
(2) 3階男子トイレ小便センサー修理
(3) 1階女子トイレウォシュレット交換
(4) 屋内運動広場水銀灯修理
(5) 機械室冷温水管保温修繕等 |
| 2 定期清掃 | (1) 内容 全館のワックス塗布
(2) 回数 月1回 |

イ 消防総合訓練や発電機の点検等による避難所開設及び災害発生時への対応準備

消火訓練等を行い防火体制の強化に努めました。

- | |
|-----------|
| 1 総合消防訓練等 |
|-----------|

- | |
|---------------------------------------|
| (1) 4月15日 |
| (2) 10月21日 |
| 2 防火体制 防火対象物点検報告特例認定（平成30年7月28日から3年間） |
| 3 発電機（2台）の点検等 月1回 |

ウ 効果的な経費の削減

暖房・冷房のこまめな調整や安全確保をした上での不用な照明の消灯、使用していないコピー機等の事務用機器の電源を切るなど、経費削減に取り組みました。

(3) 同好クラブ事業の内容充実

同好クラブを運営し、趣味を通して高齢者の健康維持や仲間づくりに努めました。

ア 囲碁クラブ

- | |
|-------------|
| 1 開催回数 週2回 |
| 2 参加者数 約50名 |

イ コスモスダンスクラブ(社交ダンス)

- | |
|-------------|
| 1 開催回数 週1回 |
| 2 参加者数 約15名 |

ウ 手芸クラブ

- | |
|-------------|
| 1 開催回数 月1回 |
| 2 参加者数 約15名 |

エ 俳句クラブ

- | |
|-------------|
| 1 開催回数 月1回 |
| 2 参加者数 約15名 |

オ 将棋クラブ

- | |
|-------------|
| 1 開催回数 週2回 |
| 2 参加者数 約15名 |

カ 民謡クラブ

- | |
|-------------|
| 1 開催回数 月2回 |
| 2 参加者数 約10名 |

7 法人組織の管理・運営等

(1) 法人組織の管理・運営

ア 理事会及び評議員会等の開催

定期的な理事会、評議員会を実施しながら、経営組織のガバナンスとコンプライアンスの強化や事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等に努めました。

また、評議員を選任するための組織である評議員選任・解任委員会を開催し、法人組織の適正な管理、運営に努めました。

- | | | |
|-----|-------------|-----------|
| 1 | 理事会 | 4回（昨年度3回） |
| (1) | 6月10日 | |
| (2) | 6月25日 | |
| (3) | 9月18日 | |
| (4) | 3月17日 | |
| 2 | 評議員会 | 3回（昨年度3回） |
| (1) | 6月25日 | |
| (2) | 9月26日 | |
| (3) | 3月25日 | |
| 3 | 評議員選任・解任委員会 | 3回（昨年度1回） |
| (1) | 6月19日 | |
| (2) | 9月20日 | |
| (3) | 3月23日 | |
| 4 | 会長・副会長・監事会議 | 1回（昨年度3回） |
| (1) | 5月27日 | |
| 5 | 会長・副会長会議 | 2回（昨年度0回） |
| (1) | 9月9日 | |
| (2) | 3月2日 | |

イ 監事による監査の実施

監事による業務執行及び財産の状況の監査により、適正な法人運営に努めました。

- | | | |
|---|-----------------------|-------|
| 1 | 決算監査 | 5月20日 |
| 2 | 社会福祉法人に対する一般指導監査（天童市） | 1月22日 |

(2) 苦情解決の推進

苦情解決の推進のため第三者委員を委嘱し、組織体制の整備を図りながら、利用者の権利を擁護するとともに提供するサービスの向上に努めました。

苦情の件数	0件（昨年度0件）
-------	-----------

(3) 自主財源の確保

会員や社会福祉基金等の増強のため、広報チラシの市内全戸配布等を行い広報活動を推進しました。

- | | |
|-----|--------------------------|
| 1 | 会費 |
| (1) | 世帯数16,584世帯（昨年度16,524世帯） |

- (2) 会費額 11,608,600円（昨年度11,566,800円）
- 2 社会福祉基金
 - (1) 件数 1件（昨年度1件）
 - (2) 金額 10,000円（昨年度10,000円）
- 3 共同募金
 - (1) 共同募金配分金 4,979,252円（昨年度4,736,733円）
 - (2) 地域福祉活動配分金 156,659円（昨年度73,750円）

(4) 地域における公益的な取組の推進

社会福祉法人の責務として、社会福祉法に定められている日常生活又は社会生活上の支援を必要とする方に対しての無料又は低額の料金で行う福祉サービスを積極的に提供しました。

- 1 たすけあい資金貸付事業 低所得世帯に対しての資金貸付（無利子）
- 2 フードバンク事業 生活困窮者世帯に提供いただいた食品等の無料提供
- 3 まごころ支援事業 介護保険等に該当しない方への訪問介護サービスの提供
- 4 法人後見事業 意思決定が困難な方の財産管理等を行い、権利を擁護する

(5) 職員の資質向上及び福利厚生

ア 定例会及び係長等会議の開催

定例会及び係長等会議等を開催し、各係での連携を密にしながら、職員間の連絡調整に努めました。

- 1 定例会
 - (1) 参加者 6名（会長及び局長、次長、各係長）
 - (2) 回数 月1回開催
- 2 係長等会議
 - (1) 参加者 9名（局長及び次長、各係長他）
 - (2) 回数 月1回開催

イ 各種研修会への参加及び開催

外部で開催される研修会等への積極的な参加により、職員の資質向上に努めました。また、独自に研修会を開催し、専門的な知識や技能等を高めました。

- 1 内部研修会等 11回 258名 ※定期的に開催する(11/12を除く
（昨年度21回484名）
 - (1) 消火訓練等
 - ア 消火訓練
 - (ア) 期日 4月15日
 - (イ) 講師 浅野防災山形
 - (ウ) 参加者 30名
 - イ 消防総合防災訓練

- (ア) 期日 10月21日
- (イ) 講師 市消防本部等
- (ウ) 参加者 35名
- (2) 新任職員研修
 - ア 期日 4月17日
 - イ 講師 本会職員
 - ウ 参加者 4名
- (3) 健康講話とラージボール教室
 - ア 期日 5月14日・16日
 - イ 講師 鞍掛彰秀産業医
 - ウ 参加者 38名
- (4) 写真撮影研修会
 - ア 期日 7月5日
 - イ 講師 キンダイコミュニケーションズ カメラマン他
 - ウ 参加者 10名
- (5) コーヒー研修会
 - ア 期日 7月5日
 - イ 講師 元喫茶店マスター
 - ウ 参加者 10名
- (6) 交通安全研修マイカー点検教室
 - ア 期日 7月25日
 - イ 講師 整備振興会天童市部会員整備士
 - ウ 参加者 8名
- (7) 肩こり・腰痛予防教室
 - ア 期日 8月26日・27日
 - イ 講師 在宅リハビリ看護ステーション理学療法士
 - ウ 参加者 41名
- (8) 事務研修（新ホームページ及び予定表等操作説明）
 - ア 期日 9月27日
 - イ 講師 アーキネット（ホームページ作成会社）
 - ウ 参加者 13名
- (9) 介護サービス係研修会（精神障がい者の理解と対応）
 - ア 期日 12月5日
 - イ 講師 秋野病院精神保健福祉士
 - ウ 参加者 17名
- (10) 一般応急手当講習会
 - ア 期日 2月12日・13日
 - イ 講師 市消防本部
 - ウ 参加者 52名
- (11) 居宅介護支援事業所会議
 - ア 回数 51回（週1回）
 - イ 参加者 153名（各回3名）

(12) 訪問介護サービス事業所会議

ア 回数 12回(月1回)

イ 参加者 204名(各回12名)

2 外部研修会等

(1) 開催回数 275回(昨年度292回)

(2) 参加職員 530名(昨年度551名)

ウ 安全衛生委員会の開催や健康診断等の助成

1 安全衛生委員会

(1) 参加者 7名(鞍掛彰秀産業医、局長、次長、各係長他)

(2) 開催回数 6回

2 インフルエンザ合同予防接種の実施、費用の助成

3 健康診断の実施